

本会議における 代表質疑・議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ42名の議員が質疑を行いました。市が提出した議案の内容、提案の理由等について、疑問点や不明な点を明らかにするためにを行います。こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、掲載しています。採決の際、討論を行った議案は、「討論あり」と表示し、11ページに掲載しています。

議案第38号

令和2年度一般会計補正予算(第14号)

【公明党】(日本共産党)

問ワクチン接種後にアナフィラキシーが発生した場合には、どのように対処するのか伺う。

答接種が実施できるよう、連携・協力を充実していきたい。

問医師がその場で薬剤投与などの対処を行う。その上で、専門の医療機関での処置が必要と判断した場合には、救急搬送で対応することとなる。

答事前に接種を行う医療機関が所在する市町村に届け出を行った上で接種を行うこととなっている。

問川越市医師会との協体制はどのようになっているのか伺う。

答川越市医師会内に設置された会議体と定期的に協議・調整を重ねており、今後も適切にワクチンの

問ワクチン接種に向けての準備状況は。

答庁内体制を整備し、接種に必要な接種券の印刷

種に必要ない種、接種券の印刷、封入・発送、コールセ

ンター設置、接種予約管理等の準備、保健システム改修などを進めている。また、個別接種については各医療機関との調整等、集団接種については会場の選定等を進めている。さらに、ワクチンの配分や輸送についてもさまざまな方法を検討している。

代表質疑

市政・教育行政方針について

【自由民主党】(公明党)【清国会】(政策フォーラム)【政晴会】(日本共産党)

問3期12年で市民にどのような点が評価されたと考えるか。

答市民間保育所等の整備、小中学校普通教室へのエアコン設置、駅前広場等の都市基盤整備などの事業を着実に実行し、一定の成果を挙げたことを評価されたと考えている。

問新型コロナウイルスワクチン接種にどのような取り組みでいくのか。

答一日も早く接種できるように体制を整え、ワクチ

種を軸として、集団接種による補完を行う。

問スケジューリングを伺う。

答ワクチンの配分日時が示されていないため、具体的なスケジュールが立てられないが、3月初旬から医療従事者への接種を開始し、順次、高齢者への接種を開始できるよう準備を進めていく。

問ICTの活用で授業はどのように変わるのか。

答1人1台の情報端末を活用し、個別の課題に応じて調べたり、グループで資料の共同編集をする。さらに電子黒板の活用で、思考の可視化を図り、深い学びの実現につなげる。

問コロナ禍の対策として

答

市長が決意している事は。

うとしていくのか。

答新型コロナウイルスから市民の命と健康を守り抜くという強い決意の下、国や県、医療機関等と連携し、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでいく。

答都市基盤整備等は、まちの活力等を生み出す、大変重要な施策であるが、厳しい財政状況等を踏まえると、真に必要なもの、優先すべきものを見定め、次世代に過度の負担を残さず、進めていきたい。

問高齢化率が上昇する中で安心を与える施策は。

問自らの任期の4年も

答地域包括ケアシステムの考え方を、障害や子どもなど他の分野にも応用し、充実した相談支援機能と地域関係者の連携・協働による重層的支援体制整備事業に取り組む。

答未来に向け、オリンピックゴルフ競技等を成功させることが大事である。一方、コロナ対策等を最優先に取り組む必要があり、行財政改革等を進め、持続可能なまちづくりにつなかりつなげたい。

問コロナ禍でのいじめ問題等への今後の対策は。

問市長が4期目を目指した最大の理由は？

答児童生徒の把握を継続して行い、感染は誰かが悪いのではないことや、お互いを思いやる優しい気持ちを持ち、いじめにつながる言動をしないよう学校生活を送ること等、丁寧に指導を行っていく。

答新型コロナウイルス感染症対策や強靱な地域づくり等の喫緊の課題に対応していくには、これまでに培った経験と実績を

問市の財政状況を鑑み今後の都市基盤整備等に対して、どのようなビジョンを基にして筋道を示そ

うとしていくのか。

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答